



新年のご挨拶

日田市天瀬公民館運営委員会
会長 高瀬 敏明

明けましておめでとうございます。
皆様におかれましては良き新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
昨年は新型コロナウイルスの感染拡大で深刻な状況が続きましたが、年末に
け、どうか日常生活も普通どおりにおくれるようになってきました。
しかし、新型コロナウイルスの新たな変異株が発生するなどまだまだ安心でき
る環境ではありません。集会や行事は縮小されて行われている現状です。
私たちも手洗いの励行、マスクの着用などコロナ対策をしっかりとやっていかね
ばなりません。
公民館事業、公民館利用も制約され、十分な活動もできませんが、人口減少、
超高齢化社会が進む中、多くの人が集い、学びの拠点としての公民館の役割はま
すます重要となってきました。
皆さんの地域活動を支え、他の団体とも協働していかなければなりません。
公民館運営委員会は館長、主事の仕事を応援し、事業の確認をすることが役割
であります。他地区の公民館運営委員会とも意見交換をしながら交流の場を
広げて行くことも大切なことであると考えています。コロナ禍の続く状況で思
うようにいきませんが、人と人とのつながりを大事にしながらお手伝いをしたい
と思っています。
館長、主事の日頃の活動に敬意を表しますとともに皆様の一層のご指導・ご協
力をお願い申し上げます。
この1年が良き年でありますよう祈念し、年頭のご挨拶とします。

新春 天瀬町歴史講座を開催します

「第1回新春天瀬町歴史講座」を開催します。

私たちの住む町にどんな歴史や文化があったのでしょうか。少しでも話を聞いてみたいという方々を
対象とした公民館講座です。入場は無料です。お気軽にご参加ください。

期日: 令和4年1月15日(土) 午前10時～11時15分

場所: 天瀬公民館3階大会議室

開講: 午前10時～

講演: 午前10時05分～午前11時05分

演題: 天瀬歴史探訪

講師: 天瀬歴史研究会主宰 穴井幸雄先生

その他 第2回天瀬町歴史講座について



teamあまがせ

10月には講師に新谷裕幸さんをお招きして、ドローンを使ってプログラミング体験を行いました。災害現場や農業・林業など様々な場面で活用されているドローンを実際に飛ばしてみました。子どもたちもとても興味津々な様子で取り組んでいました。

12月は、佐賀県立宇宙科学館へ行き、最初にバックヤードツアーで普段入ることがない水槽展示の裏側を見学したり、その後、館内にある様々な体験ブースで色々な体験をし、最後はプラネタリウムを見ました。宇宙に関することなどを体験しながら学びました。

さらに、講師に中津江村から矢野シノブさんをお招きして、クリスマスペーパークラフトに挑戦しました。それぞれ楽しく作業して、個性的なサンタクロースのペーパークラフトが出来ました。



スマホ教室

講師に横尾正治さんをお招きして、スマホ教室を行いました。

インターネット検索の方法、便利な無料アプリのダウンロード、インストールの仕方、使い方、LINEで写真やスタンプを送ったり、ビデオ通話をしたり、様々なスマホの使い方を学ぶことが出来ました。



年賀状作成講座

今年も年末恒例の年賀状作成講座を講師に花月PC-NETの石松正幸さんをお招きして、行いました。皆さんオリジナルの年賀状が出来ました。

最後に館長から受講生全員に修了証が渡され、無事に4日間の講座を終えました。





寿学級

10月と12月に寿学級を行いました。10月には講師にわかみやコミュニティケアセンターから道田さんと金子さんをお招きして、認知症予防・転倒予防体操を教えてくださいました。運動より「活動（誰かと話をする・近所を散歩するなど）」をメインに行うことで、認知機能や運動機能の低下を防止することが出来るとのことでした。

今年から寿学級を開始した五馬市では日田市レクリエーション協会の江田さんをお招きして、レクリエーションを行いました。色んなゲームをして楽しい時間を過ごせました。



12月には「唱歌を歌いましょう」と題して、加藤智裕さんと朝日公民館の赤尾館長をお招きして、「荒城の月」や「高校三年生」などを皆さんと楽しく歌いました。

馬原学級ではエホント代表の石松リエさんをお招きして、読み聞かせをしていただきました。石松さんの表現力の豊かさに、皆さんが絵本の世界に没頭していました。

輝(キラキラ)塾



10月に講師に大山町の川津富子さんをお招きして、ラベンダーの香り袋作りに挑戦しました。皆さん、リボンの色や編み方などこだわって、楽しそうに作業をしていました。ラベンダーが入ったお洒落な香り袋が出来ました。部屋の飾る場所によって色んな効果が表れそうですね。

11月にはバス研修で豊後高田市へ行きました。昭和の町ではガイドの方に商店街を案内していただきました。午後からは富貴寺へ行き、紅葉が見頃でとても綺麗でした。



ザ☆男メシ



今回は中華料理に挑戦しました。メニューは酢豚・中華スープと杏仁豆腐です。酢豚は野菜をしっかり素揚げすることで旨味が閉じ込められて、とても美味しかったです。杏仁豆腐もプルンとした食感でサッパリとした味わいでした。



イラスト：がくげい

天瀬地区人権講演会

12月に天瀬地区人権講演会を開催しました。講師に佐藤香津子さんをお招きして、「男女共同参画～支えあう気持ちがあれば・・・～」と題して講演をしていただきました。男女の人権を中心として話をしていただき、まずは家庭から、お互いに何でも話し合える環境、安心できる環境を整えていくことの大切さを教えていただきました。貴重なお話をありがとうございました。最後に手話通訳をしていただいた梶原さん、清水さん、ありがとうございました。



公民館運営委員会視察研修



11月に公民館運営委員会の視察研修を行い、安心院町へ行きました。最初に安心院中央公民館を見学しました。安心院中央公民館は安心院地域複合支所の中に併設されており、建物は令和元年12月に完成したばかりのとても新しい施設です。最初に宇佐市教育委員会社会教育課の川谷総括と江藤館長から施設の概要などについて説明していただきました。宇佐市の市有林材を色んな所に活用されていました。他にも深見五重塔・美術館を見学しました。五重の塔は安心院町出身の糸永貞樹さんが故郷への感謝の気持ちを込めて1983年に建立しました。京都の醍醐寺の五重の塔をモデルにしたそうで、とても見応えがありました。美術館には国宝級の美術品が多数展示していました。



つかだ音楽祭2021

11月7日（日）に塚田コミュニティセンターの星空広場で「つかだ音楽祭2021」が開催されました。当日は天候にも恵まれ、天瀬町からはもちろん、町外からもたくさんの方が来場されました。コロナ過で色々なイベントなどが中止や延期されている中で、みんなで集まって、純粋に楽しむことが出来た貴重な時間だったのではないのでしょうか。



じゅつつる

玖珠川の十釣

玖珠川のイメージは、清流と四季折々の素晴らしい景観、そして釣り人である。最近、氾濫の二文字が加わったのは残念。早く、従前のイメージへの復活を願う。そのイメージの象徴の一つに「釣」のつく地名がある。三隈川の小淵から筑後川の支流玖珠川となるが、上流の玖珠までの間に十の「釣」がある。下流から、①下釣(したづる、またはしもづる)②うゆづる(鵜遊釣または宇游釣)③榎釣(えのきづる)④下ノ釣(しものづる)⑤上ノ釣(かみのづる)⑥山ノ釣(やまのづる)⑦神ノ釣(じんのづる)⑧湯ノ釣(ゆのづる)⑨矢野ノ釣(やののづる)⑩十ノ釣(とうのづる)である。

【文中の下釣と、うゆ釣が読みや漢字、場所が不明で三芳小湊町自治会長の合谷善幸さんと榎釣の高倉重昭さんにお尋ねしました。下釣は小ヶ瀬の沈み橋上流・左岸側付近、うゆ釣は小ヶ瀬トンネル下・右岸側あたりでした。読み書きにはそれぞれ説があるようです。ご協力誠にありがとうございました。】

(文責:高倉誠二)